



会長



新年あけましておめでとうございます。謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

平素は、当協議会の活動にご理解とご協力いただき誠にありがとうございます。

昨年は、戸別所得補償モデル対策が始まる中、猛暑による作物への大きな影響やTPPへの協議参加など不安の多い1年であったものの、集落法人数は200を超え、その数は日本一を堅持し、確実に本県農業の構造改革が進んでいるといえます。これを記念して2月1日には、『広島県集落法人記念大会』を開催いたしますので、皆様方お誘いあわせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。(詳細は、裏面)

また、当協議会の活動は、充実した支部活動と活発な法人間連携により、本県農業のトップランナーとして関係者の方々のご支援をいただきつつ、皆様方とともに歩んできたのではないかと感じております。

本年は、さらに各支部の活動を中心に強固な集落法人経営の確立に向けて、たゆまぬ努力と挑戦を続けていただくとともに、今後もさらに集落法人の設立を進め、支部を超えた広域的な法人間連携も視野に入れた革新的な取組みなどにより、その強みを発揮していくことが求められてくると考えています。

また、このような力強い取組みとあわせて、集落法人の“姿”や“取組み”を認識いただき、理解いただくため、消費者などの顧客に対して我々の“声”を発信していくことが更なる経営発展に大変重要なことであるといえます。

引き続き、当協議会は、関係する組織(県、市町、JAなど)の皆様方のご協力とご支援を賜りつつ、会員の皆様に満足いただける活動を目指し、兎年にふさわしい跳躍(飛躍)の年になるよう、ともにチャレンジしてまいりましょう。今年一年の皆様方のご多幸を祈念いたします。

## 最近の情勢と集落法人の発展に向けて ～知事、議会、中央会、政党への要請活動報告～



知事室にて(右から行迫副会長、湯崎知事、萩会長、石田事務局長) 12月27日

昨年の米価の大幅下落やTPP協議参加に向けた動向など農業への大きな不安要素が山積しており、これらの難局を乗り越えていくため、関係者の一層の理解と支援により、これまでの集落法人の取組みに加え、さらに経営力を高めていくことが必要です。このようなことから、昨年12月に広島県湯崎知事、広島県議会林議長、自民党広島県支部連合会岸田文雄会長、JAひろしま中央会村上会長を訪問し、『集落法人の経営力を高めていくことに引き続き支援をお願い』する内容の要請活動を行いました。

湯崎知事は『販売力を高めることが重要で、供給先と価格帯を明確にし、海外も含め多様な販路開拓が求められていると思います。日本ほど安心できる食糧を供給できているところは無いと思っていますから皆様に頑張ってください』と応援するメッセージをうかがうことができました。

また、JAひろしま中央会の村上会長は、『農地は耕作する地域の皆さんが話し合われ、所有と利用を

分離する中で、有効に活用されるべきで、それがムラを持続させる有効な手段である。これを実現している集落法人に敬意を表する』と述べられ、今後も一心同体となって活動していくことが確認されました。

引き続き、関係者への理解と支援の要請に関する協議会活動を行っていく予定としています。



右から自民党岸田会長、高木議員、宇田幹事長、萩会長 12月20日



右から高木議員、林議長、萩会長、行迫副会長 12月27日



集落法人の加工品等を贈呈する行迫副会長(左)と村上会長(右) 12月27日



集落法人で 楽しい農業

豊かな 人 材で築く 地域の未来